

整備作業進捗状況(2005年11月)

実施項目		実績 (11月)	予定 (12月)
旧核燃料試験研究施設整備	1. 試験設備の解体・撤去	(完了)	旧核燃料試験研究施設整備は完了いたしましたので、今後、放射性廃棄物の保管量などは「 総合研究所放射性物質全域調査 」の項の進捗状況に記載のこととします。
	2. F棟、S棟の整備及び保管	(完了)	
	3. 施設E及びP建屋内除染	(完了)	
	4. 土壌等建屋周辺物の撤去及び保管	(完了)	
	5. 施設E及びPの解体・撤去	(完了)	
	6. 周辺環境モニタリング	敷地境界での空間線量当量率及び空气中の放射能濃度の測定を実施	
	7. 新保管庫建設及び放射性廃棄物の保管	搬入済の放射性廃棄物を保管	
	8. その他	放射性廃棄物の量は、11月30日現在、200リットルドラム缶152本、1.5m ³ 角型容器2,756個、2m ³ 角型容器828個(注1参照)。最終確認作業を実施(ボーリングコア採取試料の分析作業)(注2参照)	
所内全域調査	1. 所内全域の空間線量当量率測定	調査結果報告書の作成	
	2. 既存コアの放射線測定		
	3. ボーリング調査		
	4. 土壌のウラン・トリウム分析		

注1) 放射性廃棄物量を200リットルドラム缶換算で表示しますと、全体で29,102本となります。なお、NDC社の放射性廃棄物量は、1.5m³角型容器で1,180個(200リットルドラム缶換算8,850本)です。

注2) 最終確認作業において、2試料を追加して分析作業を実施した結果、汚染土壌が回収されたことを確認しました。

以上